

前期前半終了時朝会でのお話(令和3年8月31日)

「United by Emotion(感動で私たちは一つになる)」これは今回のオリンピックの開会式のテーマでした。

皆さんは東京で開催されたオリンピック、パラリンピックを見ましたか？

オリンピック、パラリンピックは世界で4年に1回開かれるスポーツの競技大会で、世界中の各国の優秀なスポーツ選手が出場します。

この大会が今回、東京で行われるというとても貴重な経験を私たちはすることができました。

今回、この「感動で私たちは一つになる」というモットーをまさに表すような感動的なシーンがいくつも見られました。校長先生が最も心に残ったシーンは、男子体操の橋本大輝選手の鉄棒の演技です。

いくつかの競技を終え、3位で最後の鉄棒を迎えた彼は、大変難しい技を成功させると、着地と同時にガッツポーズを見せました。

結果は金メダル。

その後、彼が大きな大会でも小さな大会でも変わらず誠実に同じ演技を全力でし続けていたということが伝えられました。

彼にとって今回の大きなオリンピックの場も地域で行う規模のそう大きくない試合の場も同じに考えられたことにより、不安を抱くことなく、もっている力を最大限に出すことができたというのです。

校長先生はそのことに大変感動し、そして大きく納得しました。

当たり前のことをどこまでも一生懸命することの大事さはずっと前から江南北小学校の先生たちが皆さんに繰り返し繰り返し伝えてきたことです。

そのことの大事さを彼の姿からとても強く感じることができました。

新型コロナウイルスに掘り回されるの禍の中で、できないことに注目して、ふてくされるのではなく、できることに一生懸命ただ取り組むだけ。

それが皆さんの力を大きく育て、大いに生かすことにつながります。

さあ皆さん、後期後半も笑顔で元気に過ごしましょう。